大人の見る絵本　生れてはみたけれど（1932）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国　日本
色彩　B&W
時間　91分
初公開日 1932/06/03
映倫　PG12

【解説】
　巨匠・小津安二郎監督のサイレント期を代表する作品。子供の素直な視点から、肩書きに振り回されるサラリーマン社会の悲哀をユーモアを織り交ぜ描く。東京の郊外に引っ越してきたサラリーマンの一家。近くには父親の上司の家もある。さっそく、子どもたちは近所のガキ大将になり、その上司の息子も手なずける。ところが、父親はなぜか上司相手に卑屈な態度をとっていた。子どもたちにはそんな父の姿がたまらなく我慢ならなかった…。

【クレジット】
監督　小津安二郎
原案　ゼェームス・槇　（小津安二郎）
脚色　伏見晃
潤色　燻屋鯨兵衛
撮影　茂原英朗
衣裳　斎藤紅
編集　茂原英朗
出演　斎藤達雄　父
吉川満子　母
菅原秀雄　長男
突貫小僧　次男
坂本武　重役
早見照代　夫人
加藤清一　子供
小藤田正一　小僧
西村青児　先生
飯島善太郎　遊び仲間
藤松正太郎　遊び仲間
葉山正雄　遊び仲間
佐藤三千雄　遊び仲間
林国康　遊び仲間
野村秋生　遊び仲間
石渡輝秋　遊び仲間

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.